

若い漁業者育成確保促進事業

漁業者の知識と技術の向上を図り、組織的な学習や活動をととして相互の緊密な連携と情報交換を行うことにより、漁村の人づくりと活性化を推進するため、国庫補助事業「若い漁業者育成確保促進事業」を実施した。

1. 漁村青少年協議会

この協議会は漁村青壮年グループの自主的な活動運営を助長するため、グループの代表者を主体に漁業士、市町村及び漁業団体の職員並びに学識経験者をもって構成し、任期は3年となっている。

漁村青少年協議会はグループの意向の集約を行うと共に計画や実施状況について協議した。平成3年度の協議会の委員は前年度と同様で、本島地区、宮古地区、八重山地区においてそれぞれ3回づつ協議会が開催された。

2. 学習会

この事業は、地域振興を図るため、地域における未開発の技術又は経営手法の導入にあたって、後継者自らが地域の特定課題又は技術内容を充分理解し得るよう専門家を招き集団学習を行うものである。

今年度は3地区（恩納村－9月11日、平良市－9月12日、石垣市－9月13日）において福岡県大島漁協長遠藤案山子氏を講師に招聘し、「磯根資源と漁場管理」の演題で講演会を行った。

当日は漁協青年部、研究グループ、漁協役職員、市町村水産担当職員等が参加し、活発な質疑応答と討議が行われた。

3. 技術交流会

この事業は、後継者の漁業及び漁家生活に関する考え方・技術等について地域相互間の交流を行い、技術・知識の向上を図るため、グループ代表者を県内又は他県に派遣し、先進技術等の交流活動を行うものである。

今年度は、平成4年1月21日～22日までの2日間、魚類養殖管理技術及び販売戦略等について羽地漁協（他、本部、読谷、知念、名護の各漁協及び県栽培漁業センター）の漁協青年部と技術交流学習を深めた。参加者は、久米島漁協他7漁協から34名が参加した。

また、平成4年1月27～29日までの3日間、恩納村漁協及び伊是名漁協において、モズク採苗及び養殖技術について採苗から沖出しにかけての養殖技術を同漁協青年部と技術交流学習を深めた。参加者は八重山漁協から大城清一氏外7名が参加した。

4. 漁村青壮年婦人活動実績発表大会

この事業は、漁村青壮年及び婦人、研究グループが自主的な活動実績を発表し、相互の知識と技術の交流を図り、活動意欲を高めるとともに地域の生産技術の向上、経営の改善に寄与することを目的に開催した。

今年度は、平成4年1月17日に那覇市内の水産会館において本島・宮古・八重山から下記の発表者及び発表課題により開催された。当日は、各漁協及び系統団体、市町村担当職員等多数(243名)が参加し盛大であった。

なお、審査の結果、「浮魚礁(パヤオ)の自主製作と維持管理について」と題して発表した伊良部漁協小型船舶組合の国頭和廣さんが最優秀賞に輝いた。また、当日は、交流学習事業として北島角子氏(文部省芸術祭演劇部門優秀賞受賞)を講師に招いて「やさしさに出会って」と題し講演を実施した。

※ 発表者と発表課題

発表者	発表課題	所属
砂川長信	ヒトエグサ養殖の導入と販路拡大	佐敷中城漁協北中城支部ヒトエグサ養殖研究グループ
賀数小夜子	「どっなんの味」特産品づくりをめざして	与那国町漁協婦人部
国頭和廣	浮魚礁(パヤオ)の自主製作と維持管理	伊良部町漁協小型船舶組合